

ア ジ ア 養 蜂 研 究 協 会



書籍等販売のご案内

新刊、近刊を含めアジア養蜂研究協会が現在販売中の書籍等を紹介したい。

「養蜂の科学」佐々木正己著。サイエンスハウス：最近の昆虫機能利用，開発の動きを受け有用昆虫，資源昆虫を代表するミツバチについて，養蜂がその社会機構をどこまで活用し，コントロールしてきたか，今後の展望を含め最新の知見に基づいて述べる。頒価 1,600 円

「花粉学辞典」日本花粉学会編。朝倉書店：花粉分析，形態・分類，細胞・生理，遺伝・育種，花粉症，養蜂，食品の 6 分野から主要項目 1300 を五十音順に配列。玉川関係者も分担執筆に参加し，花粉食品・ハチミツ食品等の製造・販売に関連する企業も読者対象としている。頒価 12,000 円（図書紹介を参照）

「みつばち—自然界の幾何学者」立風書房：主な内容 氏より育ち—みつばちの階級（松浦），巣のなかで何が起きているか（大谷），ミツバチの配偶行動（吉田），いったいミツバチは何種あるのか？（小野）ミツバチがつくる物と私たちの健康（酒井・松香）ミツバチと近代哲学者たち（渡辺）ほか，頒価 1,400 円

「昆虫の生物学」（第二版）。松香光夫ほか。玉川大学出版部：昆虫は生物界で抜群に種類数が多く，その体型，生活は多様である。大学基礎課程の生物学の教科書として編まれた本書は，読者の身近にいる昆虫の目につきやすい断面から出発して，生物学的にもう一步踏み込んだ見方ができるようになることを狙っている。写真・図版 140 点収録。頒価 2,800 円

「生物学を読む」松香光夫・吉田邦久編。玉川大学出版部：現代生物学を構成する諸分野の位置づけを示し，その分野をよく把握するために適した本（参考図書を含め計 270 冊）とその読

み方を紹介する。頒価 2,000 円。

「Asian Apiculture」（英文）。eds. Connor L. J. et al. Wicaws Press: 1992 年 2 月にタイで開催され，同時にアジア養蜂研究協会が設立された“アジアのミツバチとダニに関する国際会議”で発表された論文 80 篇と，Apicultural Abstracts 誌に掲載されたアジアのミツバチの文献 515 篇がまとめられている。頒価 8,000 円

「ミツバチのはなし」酒井哲夫編著。技報堂出版：専門家の目を通して明らかにされたミツバチの神秘的な生態や生理，不思議な行動，人間との関係など最新の情報を紹介する興味深い 31 話。頒価 1,300 円

「ニホンミツバチ誌」岡田一次著。自費出版：200 枚以上の見事な写真をふくむ著者の 40 年間にわたるニホンミツバチ研究の結晶。残部わずか。頒価 3,000 円

ミツバチの絵はがきセット 5 種（各 8 枚組 200 円）玉川大学ミツバチ科学研究施設：

『ミツバチカラー絵はがき』『世界のミツバチ切手』『日本の養蜂』『ミツバチ生態絵画集』『ASIAN HONEYBEES』

テレホンカード 3 種（各 700 円）

『ニホンミツバチ，仏様』『セイヨウミツバチ，カリフォルニアポピー』『イチゴ』

購入ご希望の方は書名と部数，送付先住所氏名，電話番号をお知らせ下さい。代金は書籍送付時に同封する郵便振替用紙でアジア養蜂研究協会あてにお願いいたします。なお，頒価には送料は含まれません。別途実費を申し受けます。

連絡先：

玉川大学ミツバチ科学研究施設内
アジア養蜂研究協会 担当：榎本ひとみ
電話：0427-39-8685
Fax：0427-39-8854
郵便振替口座番号：00180-6-549964
アジア養蜂研究協会